

令和6年度 学校評価アンケート分析結果

宮城県登米総合産業高等学校

1 調査対象 (在籍生徒数 [令和6年1月1日現在] および調査回答人数) ※ 問いによって無回答あり

学年	第1学年	第2学年	第3学年	生徒計	保護者	教職員
在籍数	164	168	168	500	500	81
回答数	128	117	131	376	294	64
回答率	78%	70%	78%	75%	59%	79%
			昨年度回収率	74%	68%	97%

2 調査期間および調査方法 令和6年1月14～28日 質問紙法

3 調査内容およびアンケート調査結果集計概要 (単位：%)

(1) [教育課程] 学校として、スクールポリシーに基づいた教育課程が編成・実施されている

項目	1年	2年	3年	生徒計	昨年度	保護者計	昨年度
よく当てはまる	35.9%	23.1%	29.8%	29.6%	93.7%	28.4%	92.7%
だいたい当てはまる	61.7%	70.9%	59.5%	64.1%	93.7%	64.2%	92.7%
あまり当てはまらない	1.6%	4.3%	9.9%	5.3%	6.3%	6.7%	7.3%
当てはまらない	0.8%	1.7%	0.8%	1.1%	6.3%	0.6%	7.3%
						2.0%	10.4%
							0.4%
							6.7%

(2) [学習指導] 学ぶ意欲を引き出し、学力を身につけられるような授業が行われている

項目	1年	2年	3年	生徒計	昨年度	保護者計	昨年度	職員計	昨年度
よく当てはまる	29.7%	25.6%	29.8%	28.4%	91.3%	29.2%	88.6%	21.8%	83.3%
だいたい当てはまる	64.8%	65.8%	58.0%	62.9%	91.3%	59.4%	88.6%	61.4%	83.3%
あまり当てはまらない	4.7%	7.7%	7.6%	6.7%	8.7%	10.2%	11.4%	15.7%	16.7%
当てはまらない	0.8%	0.9%	4.6%	2.1%	8.7%	1.2%	11.4%	1.0%	16.7%
								0.6%	11.2%
								0.0%	9.7%
								0.0%	9.7%
								2.6%	2.6%

(3) [生徒指導] 挨拶やマナーなどの基本的な生活習慣の確立に関する指導が行われている

項目	1年	2年	3年	生徒計	昨年度	保護者計	昨年度	職員計	昨年度
よく当てはまる	41.4%	35.0%	35.9%	37.4%	89.6%	33.9%	92.1%	25.9%	84.7%
だいたい当てはまる	46.9%	54.7%	55.0%	52.2%	89.6%	58.2%	92.1%	58.8%	84.7%
あまり当てはまらない	10.9%	8.5%	7.6%	9.0%	10.4%	5.8%	7.9%	13.9%	15.3%
当てはまらない	0.8%	1.7%	1.5%	1.3%	10.4%	2.0%	7.9%	1.4%	15.3%
								0.6%	10.5%
								1.6%	7.9%
								1.6%	7.9%
								2.6%	2.6%

(4) [進路指導] 進路目標の明確化に向けた適切な指導が行われている

項目	1年	2年	3年	生徒計	昨年度	保護者計	昨年度	職員計	昨年度
よく当てはまる	43.8%	37.6%	50.0%	43.8%	95.7%	39.2%	93.6%	25.9%	85.0%
だいたい当てはまる	53.1%	55.6%	46.9%	51.9%	95.7%	54.4%	93.6%	59.2%	85.0%
あまり当てはまらない	2.3%	6.0%	1.5%	3.3%	4.3%	6.4%	6.4%	12.9%	15.0%
当てはまらない	0.8%	0.9%	1.5%	1.1%	4.3%	0.0%	6.4%	2.0%	15.0%
								0.3%	11.8%
								0.0%	6.3%
								0.0%	6.3%
								1.3%	1.3%
								0.0%	1.3%

(5) [教育相談] 教員やカウンセラーが必要な時に相談に応じてくれる体制ができている

項目	1年	2年	3年	生徒計	昨年度	保護者計	昨年度	職員計	昨年度
よく当てはまる	41.4%	30.8%	34.4%	35.5%	92.8%	41.1%	93.9%	20.7%	82.7%
だいたい当てはまる	54.7%	61.5%	55.7%	57.3%	92.8%	52.8%	93.9%	61.9%	82.7%
あまり当てはまらない	2.3%	6.8%	6.1%	5.1%	7.2%	4.7%	6.1%	14.6%	17.3%
当てはまらない	1.6%	0.9%	3.8%	2.1%	7.2%	1.5%	6.1%	2.7%	17.3%
								1.3%	11.9%
								0.0%	0.0%
								0.0%	0.0%
								1.3%	1.3%
								40.3%	96.1%

(6) [部活動] 部活動は活発に行われている

項目	1年	2年	3年	生徒計	昨年度	保護者計	昨年度	職員計	昨年度
よく当てはまる	52.3%	39.3%	39.7%	43.8%	92.3%	43.4%	93.0%	33.1%	87.7%
だいたい当てはまる	39.1%	52.1%	54.2%	48.5%	92.3%	49.6%	93.0%	54.6%	87.7%
あまり当てはまらない	6.3%	6.8%	3.8%	5.6%	7.7%	5.8%	7.0%	10.9%	12.3%
当てはまらない	2.3%	1.7%	2.3%	2.1%	7.7%	1.2%	7.0%	1.4%	12.3%
								2.2%	11.2%
								0.0%	11.3%
								0.0%	11.3%
								14.3%	14.3%

(7) [生徒会活動] 生徒会活動は活発に行われている

項目	1年	2年	3年	生徒計	昨年度	保護者計	昨年度	職員計	昨年度
よく当てはまる	40.6%	27.6%	26.7%	31.6%	87.8%	31.6%	88.3%	23.8%	89.1%
だいたい当てはまる	52.3%	62.1%	54.2%	56.2%	87.8%	56.7%	88.3%	65.3%	89.1%
あまり当てはまらない	5.5%	8.6%	13.0%	9.0%	12.2%	10.2%	11.7%	10.5%	10.9%
当てはまらない	1.6%	1.7%	6.1%	3.1%	12.2%	1.5%	11.7%	0.3%	10.9%
								0.6%	11.5%
								0.0%	6.3%
								0.0%	6.3%
								1.3%	1.3%
								22.1%	89.6%

(8) [学校行事] 有意義な学校行事がある

項目	1年	2年	3年	生徒計	昨年度	保護者計	昨年度	職員計	昨年度
よく当てはまる	39.8%	34.2%	35.9%	36.6%	91.4%	33.3%	89.2%	33.0%	89.5%
だいたい当てはまる	53.1%	53.8%	57.3%	54.7%	91.4%	55.8%	89.2%	56.5%	89.5%
あまり当てはまらない	6.3%	8.5%	6.1%	7.0%	8.6%	8.5%	10.8%	9.5%	10.5%
当てはまらない	0.8%	3.4%	0.8%	1.7%	8.6%	2.3%	10.8%	1.0%	10.5%
								1.0%	9.9%
								0.0%	3.2%
								0.0%	3.2%
								10.4%	13.0%
								2.6%	2.6%

(9) [特色ある学校づくり①] インターンシップや企業見学などの地域の人と関わる機会を多く取り入れている

項目	1年	2年	3年	生徒計		昨年度		保護者計		昨年度		職員計		昨年度	
よく当てはまる	41.7%	40.2%	42.0%	41.3%	95.2%	40.6%	94.2%	38.8%	90.8%	36.3%	91.1%	38.1%	93.7%	28.6%	88.3%
だいたい当てはまる	51.2%	54.7%	55.7%	53.9%		53.5%		52.0%		54.8%		55.6%		59.7%	
あまり当てはまらない	6.3%	4.3%	1.5%	4.0%	4.8%	5.3%	5.8%	8.5%	9.2%	8.0%	8.9%	4.8%	6.3%	11.7%	11.7%
当てはまらない	0.8%	0.9%	0.8%	0.8%		0.6%		0.7%		1.0%		1.6%		0.0%	

(10) [特色ある学校づくり②] 専門性を生かすなど特色ある学校づくりに取り組んでいる

項目	1年	2年	3年	生徒計		昨年度		保護者計		昨年度		職員計		昨年度	
よく当てはまる	54.3%	49.1%	44.2%	49.2%	97.6%	43.9%	95.6%	44.7%	95.6%	44.6%	96.5%	55.6%	98.4%	45.5%	93.5%
だいたい当てはまる	44.1%	47.4%	53.5%	48.3%		51.8%		50.9%		51.9%		42.9%		48.1%	
あまり当てはまらない	1.6%	1.7%	1.6%	1.6%	2.4%	3.2%	4.4%	4.1%	4.4%	3.2%	3.5%	1.6%	1.6%	5.2%	6.5%
当てはまらない	0.0%	1.7%	0.8%	0.8%		1.2%		0.3%		0.3%		0.0%		1.3%	

(11) [防災教育] 災害・非常時の避難方法や連絡方法は伝えられている

項目	1年	2年	3年	生徒計		昨年度		保護者計		昨年度		職員計		昨年度	
よく当てはまる	49.6%	35.0%	39.2%	41.3%	95.7%	40.1%	94.7%	23.2%	84.3%	24.4%	82.1%	42.9%	98.4%	45.5%	98.7%
だいたい当てはまる	45.7%	59.0%	58.5%	54.4%		54.7%		61.1%		57.7%		55.6%		53.2%	
あまり当てはまらない	3.9%	5.1%	1.5%	3.5%	4.3%	4.7%	5.3%	14.3%	15.7%	16.7%	17.9%	1.6%	1.6%	1.3%	1.3%
当てはまらない	0.8%	0.9%	0.8%	0.8%		0.6%		1.4%		1.3%		0.0%		0.0%	

(12) [開かれた学校づくり] 学校便りなどによって、学校の情報は適切に伝えられている

項目	1年	2年	3年	生徒計		昨年度		保護者計		昨年度		職員計		昨年度	
よく当てはまる	43.8%	32.8%	38.9%	38.5%	95.7%	41.5%	95.3%	39.8%	88.4%	40.8%	91.1%	46.0%	95.2%	31.2%	88.3%
だいたい当てはまる	52.3%	62.9%	56.5%	57.3%		53.8%		48.6%		50.3%		49.2%		57.1%	
あまり当てはまらない	3.9%	2.6%	3.1%	3.2%	4.3%	3.8%	4.7%	9.5%	11.6%	8.0%	8.9%	4.8%	4.8%	7.8%	11.7%
当てはまらない	0.0%	1.7%	1.5%	1.1%		0.9%		2.0%		1.0%		0.0%		3.9%	

(13) [施設整備] 校舎やグラウンドなどの施設や設備は整備されている

項目	1年	2年	3年	生徒計		昨年度		保護者計		昨年度		職員計		昨年度	
よく当てはまる	45.2%	36.8%	42.3%	41.4%	96.2%	42.2%	95.3%	38.2%	91.1%	42.7%	95.9%	42.9%	93.7%	35.1%	88.3%
だいたい当てはまる	52.4%	58.1%	53.8%	54.8%		53.1%		52.9%		53.2%		50.8%		53.2%	
あまり当てはまらない	0.8%	2.6%	3.1%	2.1%	3.8%	4.4%	4.7%	6.5%	8.9%	3.2%	4.1%	1.6%	6.3%	9.1%	11.7%
当てはまらない	1.6%	2.6%	0.8%	1.6%		0.3%		2.4%		1.0%		4.8%		2.6%	

(14) [いじめ問題] 日頃から、いじめの実態把握や早期発見に取り組んでいる

項目	1年	2年	3年	生徒計		昨年度		保護者計		昨年度		職員計		昨年度	
よく当てはまる	41.4%	24.1%	32.3%	32.6%	84.8%	31.1%	86.8%	16.4%	71.2%	17.7%	70.7%	49.2%	98.4%	32.5%	96.1%
だいたい当てはまる	44.5%	62.1%	50.0%	52.2%		55.7%		54.8%		53.1%		49.2%		63.6%	
あまり当てはまらない	13.3%	10.3%	13.1%	12.2%	15.2%	10.3%	13.2%	24.7%	28.8%	25.4%	29.3%	1.6%	1.6%	1.3%	3.9%
当てはまらない	0.8%	3.4%	4.6%	2.9%		2.9%		4.1%		3.9%		0.0%		2.6%	

(15) [環境美化] 環境美化に取り組んでいる

項目	1年	2年	3年	生徒計		昨年度		保護者計		昨年度		職員計		昨年度	
よく当てはまる	36.8%	22.2%	29.8%	29.6%	88.5%	29.5%	88.0%	29.0%	89.4%	29.3%	92.7%	38.1%	93.7%	37.7%	92.2%
だいたい当てはまる	55.2%	66.7%	55.0%	58.9%		58.5%		60.4%		63.4%		55.6%		54.5%	
あまり当てはまらない	7.2%	8.5%	9.2%	8.3%	11.5%	10.5%	12.0%	9.9%	10.6%	6.4%	7.3%	6.3%	6.3%	3.9%	7.8%
当てはまらない	0.8%	2.6%	6.1%	3.2%		1.5%		0.7%		1.0%		0.0%		3.9%	

(16) [総合満足度] 学校生活は充実している

項目	1年	2年	3年	生徒計		昨年度		保護者計		昨年度	
よく当てはまる	42.5%	29.9%	38.8%	37.1%	90.5%	34.6%	87.3%	37.4%	89.1%	35.0%	86.0%
だいたい当てはまる	50.4%	58.1%	51.9%	53.5%		52.7%		51.7%		51.0%	
あまり当てはまらない	6.3%	6.0%	7.8%	6.7%	9.5%	9.5%	12.7%	8.8%	10.9%	11.5%	14.0%
当てはまらない	0.8%	6.0%	1.6%	2.8%		3.3%		2.0%		2.5%	

4 総合的な考察

昨年度と比較して5パーセント程度の増減はあるものの、肯定的な評価が85パーセント以上と高い水準を示しており、本校の教育活動について、生徒・保護者・教職員から引き続き高い評価を得られていると思われる。特に、生徒と保護者、教職員のいずれも「(4)進路指導」「(8)学校行事」「(9)特色ある学校づくり①」「(10)特色ある学校づくり②」「(12)開かれた学校づくり」「(13)施設整備」の項目で高い評価を示しており、これらの取組が充実し、その意義や効果が実感された結果であると考えられる。

一方で、保護者の評価では、「(2)学習指導」「(3)生徒指導」「(5)教育相談」「(14)いじめ問題」の項目に改善の余地が見られるものの、生徒の評価ではこのような課題はあまり見られない。したがって、保護者の理解を深めるため、具体的な実践内容などについて積極的に発信し、保護者との連携をさらに強化する必要があると考える。

5 調査内容ごとの分析と改善に向けた取り組み

(1) 「教育課程」学校として、スクールポリシーに基づいた教育課程が編成・実施されている

<分析>

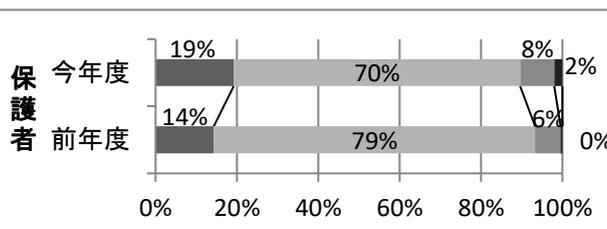
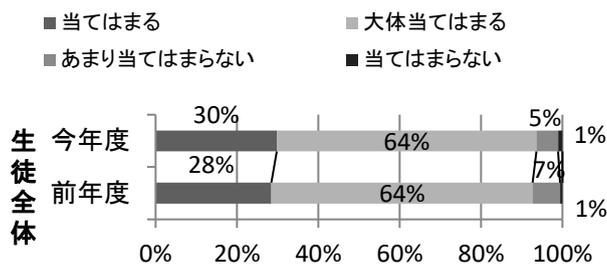
生徒92.7% → 93.7%

保護者93.3% → 89.6%

産業界をリードする人材育成を目指し、スクールポリシーに基づいて教育課程を編成している。生徒の肯定的な意見は昨年度より増加した一方で、保護者の意見は若干低下したが、全体としては肯定的意見が高い割合を示している。これは、学科や進路指導部が中心に実生活や将来の目標に直結する活動(インターシップや地域交流を取り入れた学習)を推進したり、生徒指導部が中心となって基本的な生活習慣の確立に向けた取組を強化したりすることなどが背景にあると考える。これらの活動を全校で情報共有し、連携を深めながら推進してきた成果であると考えられる。

<改善に向けた取り組み>

保護者からの評価が低下した要因として、教育方針やカリキュラムの詳細が十分に伝わっていない可能性が考えられるので、スクールポリシーや教育課程の説明を具体的で分かりやすい説明を行い、学校の取組を共有する機会を増やすことを検討している。



(2) 「学習指導」学ぶ意欲を引き出し、学力を身につけられるような授業が行われている

<分析>

●肯定的意見(当てはまる+大体当てはまる)の割合の推移(昨年度→今年度)

・生徒: 88% → 91%

・保護者: 89% → 83%

・職員: 98% → 90%

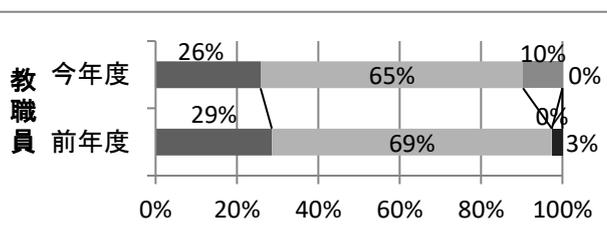
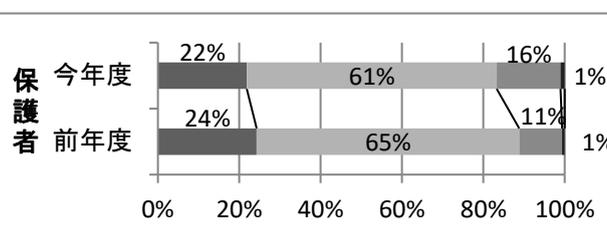
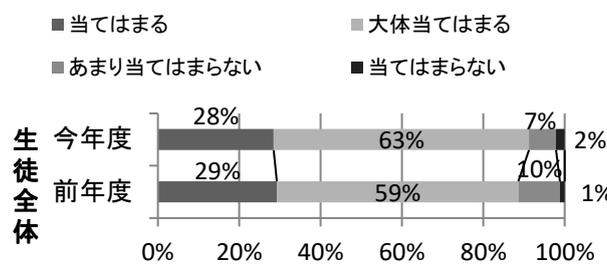
肯定的意見の割合は、前年度と比較し数%の増減はあるが、いずれの対象においても80%を超える高い値を維持しており、調査対象者の多くが本校の学習指導について肯定的に捉えていると考えられる。この要因として、各教科でICT機器を活用した生徒の学ぶ意欲を引き出す取組が進んでいることや、タブレット端末を家庭学習で活用している様子を保護者が目にする機会が増加したことも要因であると考えられる。

職員においては、主体的・対話的で深い学びの実現を目指し、タブレット端末の一人一台環境への対応やこれまで以上に教材研究に取り組む様子が伺え、授業の質の高まりを感じられる。しかし、生徒の学習理解度や学習意欲の差もあり、授業の進捗や評価の目標設定、指導方法に試行錯誤する姿も見られるが、個別最適の学びの実現に向けて尽力している。

<改善に向けた取り組み>

今年度は、1日体験入学や学校説明会、学校公開週間及び公開研究授業等を実施し、本校の取組や魅力を発信することができた。

また、出前授業や各種のイベントやコンテスト等、資格試験や検定試験を通じて生徒の活躍する場面も増えているため、校内委員会等でこれまでの取組に対する反省点や改善点について協議しながら、生徒の自己肯定感の高まりを学習意欲の向上につなげていきたい。



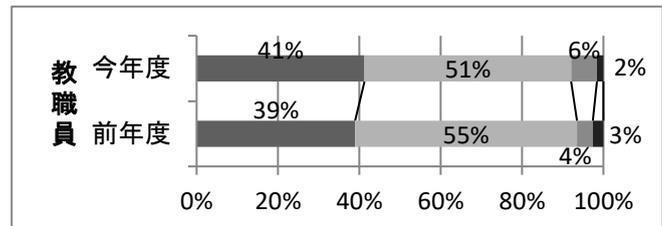
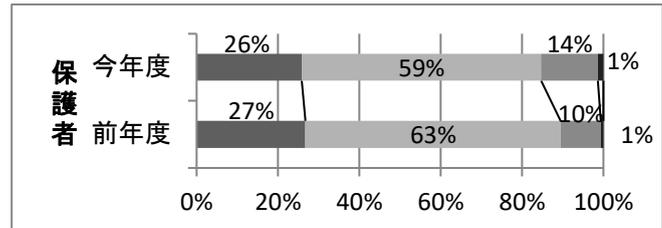
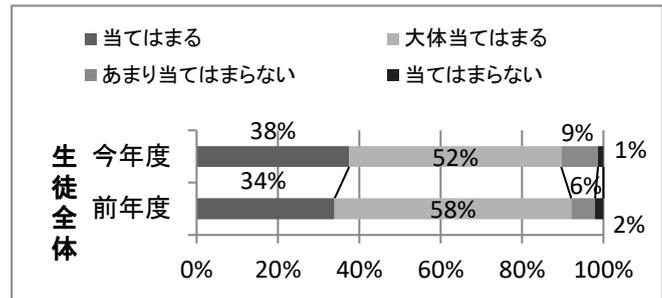
(3) 「生徒指導」挨拶やマナーなどの基本的な生活習慣の確立に関する指導が行われている

<分析>

肯定的回答が生徒・保護者・教職員において、昨年度よりわずかに低下した評価となった。全体として高い評価を頂いたと考える。今後も登米総STDの確立に向けて、「愛」スローガンを掲げた取り組みや、全教職員の輪番制による協力を得ての遅刻指導、生徒指導部と教職員による朝の立ち番指導など、これまでの指導に加え、学年ごとの昼休み巡視や各学科からの協力の効果が浸透してきた。昨年度より特別指導の件数・人数は、若干減少している。

<改善に向けた取り組み>

これまでの本校の取組である全職員による朝の昇降口指導を軸として、教育活動の様々な場面において地道に取り組む必要がある。基本的な生活習慣の確立に向けて、各学科や学年と協力して生徒が見通しをもちながら行動できる指導と支援が必要である。



(4) 「進路指導」進路目標の明確化に向けた適切な指導が行われている

<分析>

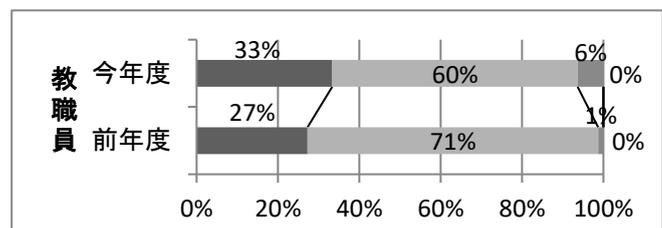
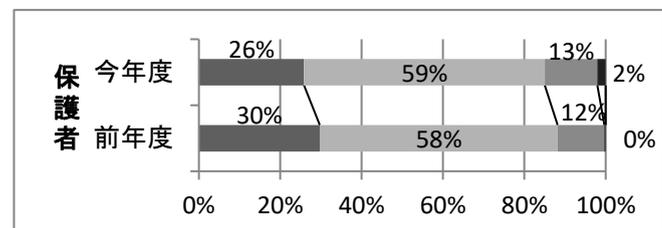
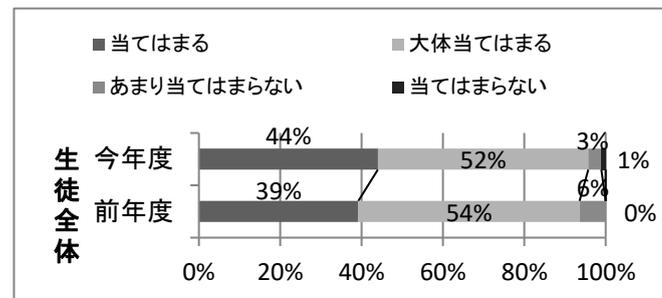
肯定的意見の割合の推移(昨年度→今年度)

- ・生徒: 93.6%→95.7%
- ・保護者: 88.2%→85.0%
- ・教職員: 98.7%→93.7%

上記の結果から、本校の進路指導に対して概ね評価をいただいていると考えられる。これは、各部、各学科、各学年、各教科等での学習活動におよび常に進路を意識した指導を継続して行っていたこと、進路行事の実施が生徒の進路目標の明確化につながっていると考える。行事だけではなく普段の高校生活のさまざまな機会においても、生徒の進路意識向上や目標の明確化を助けていけるような進路活動や進路情報の発信を、引き続き行っていきたい。それが、生徒、保護者の本校の進路活動に対する共通理解、進路指導の協力を得る一因にもなっていると考える。

<改善に向けた取り組み>

- ・今後も各学年の就職・進学担当を決め、進路行事の実施内容について学年との連絡調整を密に行い、きめ細やかな指導や実施内容に反映できるように努めていく。
- ・各部、各学科、各学年、各教科と連携を図り、生徒の進路選択までの過程、または進路達成までの適切な指導体制や流れになるように改善していく。
- ・進路指導室の定期的な環境整備に努め、企業や学校に関する情報提供をより充実させる。
- ・生徒、保護者に進路指導室の開放や活用を進め、また進路情報の発信をする。
- ・進路指導の内容について十分に反省を行い、年間計画の見直しを行う。(行事、模試等)



(5) [教育相談] 教員やカウンセラーが必要な時に相談に応じてくれる体制ができている

<分析>

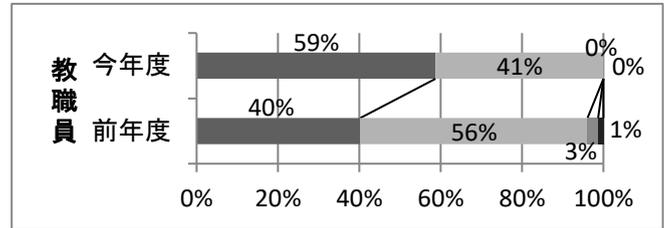
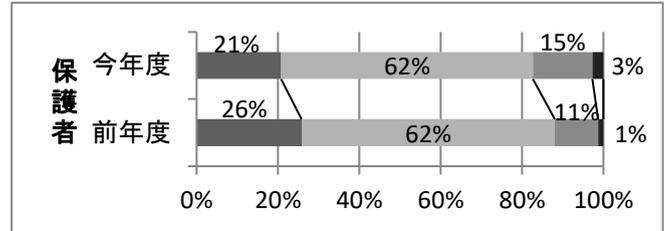
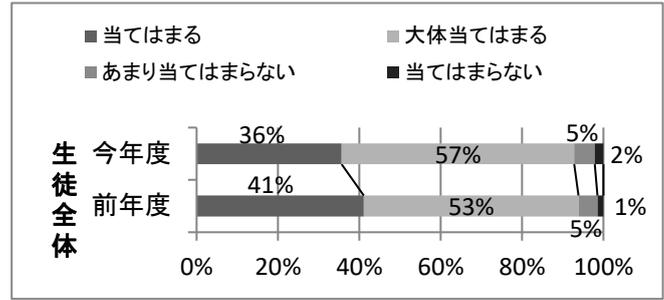
・「当てはまる」「大体当てはまる」の肯定的な解答の割合は生徒92%、保護者82%と一定の評価がされている。また、教職員におけるの肯定的な解答の割合は100%であり、SC・SSWにおける必要時の体制に肯定的であることが分かる。

・SC、SSWの活用においては、カウンセリングの必要性を感じている生徒の担任、学年、保健室、部活動等の先生方が積極的に情報共有を行い確実に相談室に繋がることで、チームとして継続的な支援が可能になったと評価できる。

<改善に向けた取り組み>

SC・SSWの活用について

・カウンセリングについては、一昨年度予約枠が満員であるために柔軟に対応しにくい状況が発生した経緯を踏まえて、今年度においては、SC・SSW担当者として担任・学年における校務支援システムを含めた連絡調整に工夫した。今後も継続のうえ、システムが定着するよう発信を図り教員間の生徒における最新の情報共有をこまめに行っていきたい。



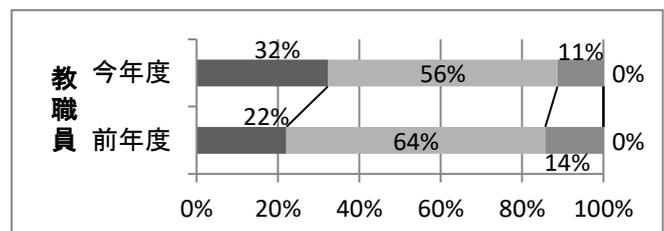
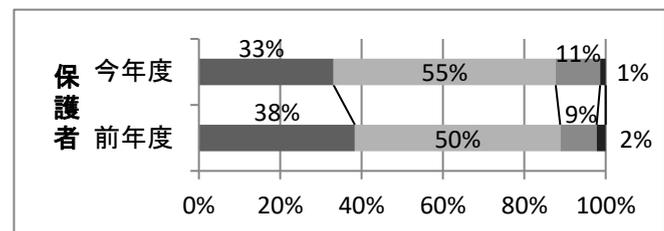
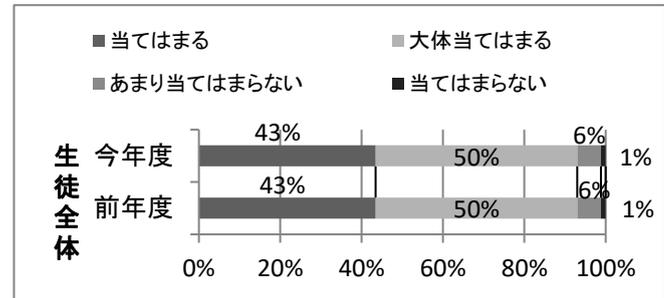
(6) [部活動] 部活動は活発に行われている

<分析>

肯定的回答が生徒・保護者ともに昨年度と変わらない評価となった。教職員はより肯定的回答が昨年度より上回った評価となった。今年度も運動部活動加入率は減少している傾向となっているが、各部とも少ない部員ながら生徒の意欲を汲み取り、各部の顧問が指導方法や練習計画など、工夫を凝らして日々の練習に取り組んだ成果だと考えている。

<改善に向けた取り組み>

部活動への積極的参加を呼び掛けて加入率の増加を目指した。各部が上位での結果を残せるように部活動数・部費の割り振りなどを検討する。生徒に部活動に所属して活動することでの人間的な成長の部分や競技種目の魅力などを部活動紹介等で充実させ、部活動登録まで生徒会からの呼び掛けや部員による勧誘活動を実施し部活動を活発にしていく。



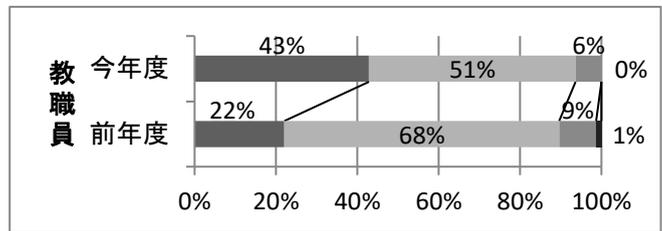
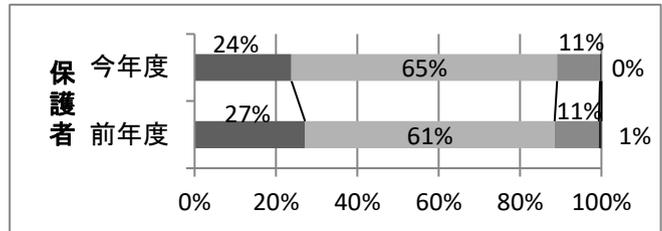
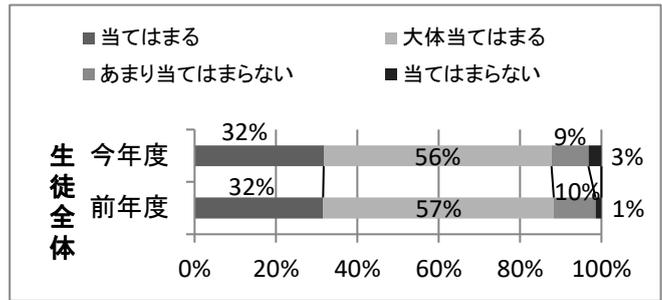
(7) [生徒会活動] 生徒会活動は活発に行われている

<分析>

生徒会活動について肯定的な評価が80%を超えている。特に保護者の評価は昨年度よりも高く89%を超えている。活動の様子が実感でき頑張っている様子を評価していただいた結果だと思う。産業祭の一般公開もコロナ過以降2年目になり盛大に開催することができた。各種委員会活動においても活発に活動できた。

<改善に向けた取り組み>

生徒会執行部が中心となり、生徒主体のより良い各種活動を目指し企画・運営していくことにより生徒たちの達成感ややりがいを高めていく。



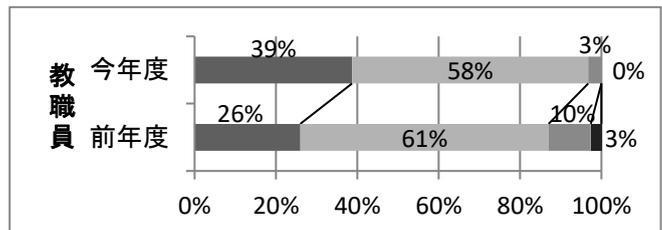
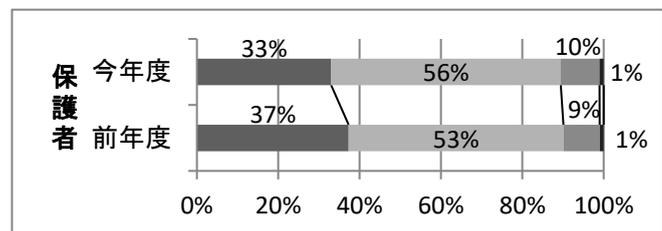
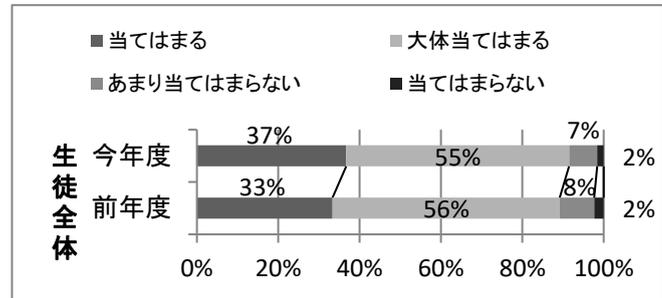
(8) [学校行事] 有意義な学校行事がある

<分析>

肯定的回答が生徒・教職員ともに昨年度より上昇し、保護者の評価は低下した。上昇の要因として、スポーツ大会の実施、産業祭の一般公開、修学旅行の実施などの行事において生徒が企画・運営に携わり、主体的に活動した成果だと考えられる。生徒が望ましい人間関係を形成し、集団への所属感や連帯感を深める機会にもなったと考える。

<改善に向けた取り組み>

今後も生徒自ら主体的に活動できる活動と環境づくりを準備していきたい。保護者に行事の目的と参加の意義を説明したり事前に意見をお聞きしたりして、学校行事に対する理解と協力をお願いしていく必要がある。



(9) [特色ある学校づくり①]

インターンシップや企業見学などの地域の人と関わる機会を多く取り入れている

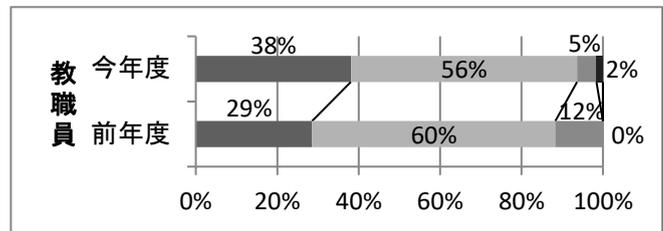
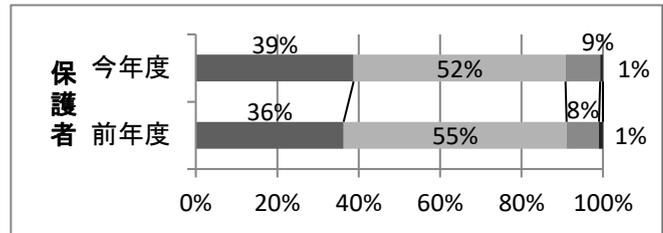
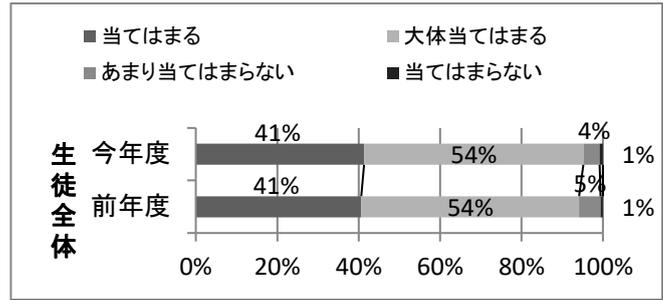
<分析>

肯定的意見の割合の数値

生徒・保護者・教職員ともに肯定的評価の割合が、90%を超えている。とくに職員の「よく当てはまる」の評価が向上している。コロナ禍からの行動制限が解除され、職員による企業への積極的なアプローチが、職員自身の自己評価の向上に繋がった。さらに、生徒・保護者からの「よく当てはまる」評価の上昇は、職員自身が高評価を自認するほどの積極的で粘り強い実践が、保護者や生徒に理解していただけたものといえる。

<改善に向けた取り組み>

肯定的評価が高い一方で、インターンシップや企業見学などを最も積極的に行った2学年での「よく当てはまる」評価の低さが気になる。職員の様々な活動を生徒保護者に理解していただくために、学校だよりやホームページやの活用をはじめ、一斉メールの送信や報道機関に取り上げていただくなど学校からの効果的な発信の方法をさらに検討する必要がある。



(10) [特色ある学校づくり②] 専門性を生かすなど特色ある学校づくりに取り組んでいる

<分析>

生徒 95.7% → 97.8%

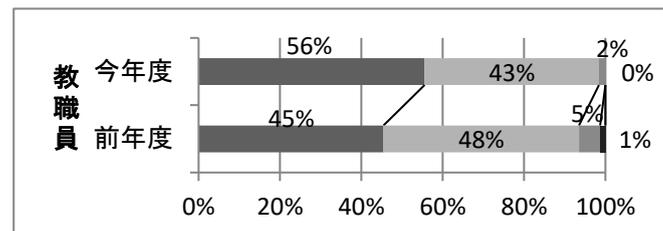
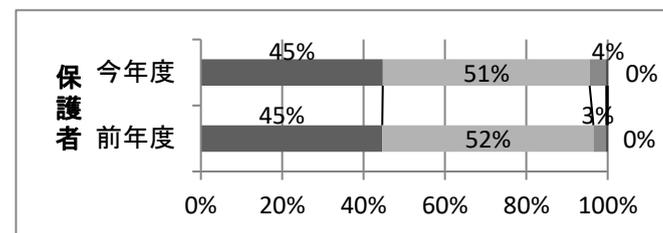
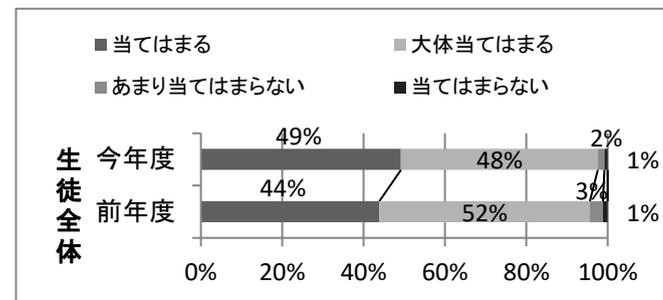
保護者 96.5% → 95.6%

教職員 93.5% → 98.4%

生徒及び教職員の肯定的な意見は増加した一方で、保護者の意見は若干低下した。しかし、全体としては肯定的意見が9割を超えており、非常に高い割合をしめしている。これは、各学科が主体となって日常の学びを実社会と結び付けたり、地域のニーズに応じた教育活動を地域と連携して積極的に推進したりしたことが大きく寄与したと考えられる。

<改善に向けた取り組み>

これまでの取組を継続して推進するとともに、それぞれの専門性を尊重しながら学科間の連携を強化することで、互いに補完しあい、地域社会や産業界が抱える課題に対して、より総合的かつ実践的なアプローチが可能になると考えている。



(11) [防災教育] 災害・非常時の避難方法や連絡方法は伝えられている

<分析>

肯定的意見の割合の推移 (R3→R4→R5→R6)

- ・生徒: 88.7% → 92.3% → 94.2% → **95.7%**
- ・保護者: 83.8% → 85.4% → 82.1% → **84.3%**
- ・教職員: 96.9% → 100% → 98.7% → **98.4%**

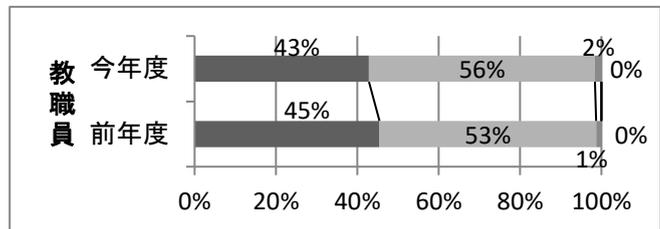
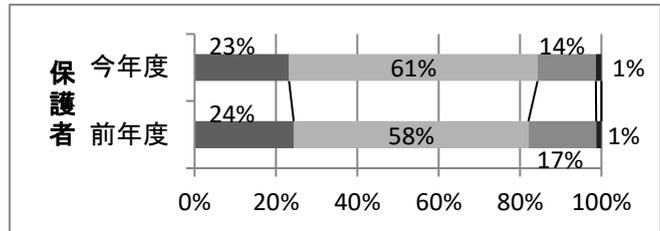
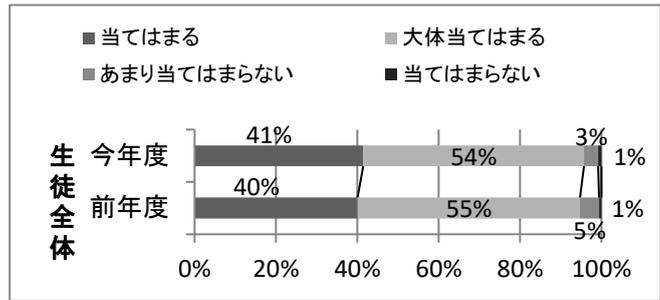
1. 生徒の肯定的な意見の割合が若干上昇した。要因として以下があげられる。

- ①昨年末で生徒防災係だったが、今年度より生徒会の委員会として組織し活動したことで、生徒の中に防災委員の活動内容が意識されたこと。
- ②避難訓練の事前指導として、担任や防災委員生徒から避難時の注意点や防災知識等を連絡し、啓蒙活動を行ってきたこと。
- ③避難訓練後のアンケートを活用して、避難経路の危険箇所や消火器の設置場所等の意識づけを行ったこと。
- ④火災想定での避難訓練時に1学年は消火器使用訓練、2、3学年は火煙体験訓練を行ったこと。
- ⑤教室内の避難経路標示、防火扉の標示等、防災に関する環境整備を行ったこと。

<改善に向けた取り組み>

1. 保護者の評価は、「よく当てはまる」の回答が、全体的評価も8割以上を維持し、肯定的な意見の割合も上昇したが、校内での防災の取り組みをより具体的に知っていただけるよう学校のホームページやブログ等を活用して発信していきたい。また、非常時の避難方法や連絡方法に関して、プリント配布及び、メール送信するなど、年度始めの早い時期に確実に伝わるよう複数の手段を利用したい。

2. 今年度は市内3校(佐沼、登米、登米総)に加え、市防災担当者との情報交換会を行い、避難所開設方法等の確認や地域連携についても模索した。次年度は、市の防災担当の方に講演していただくか、地域の連絡会議に参加し、課題の共有と連携方法について模索していきたい。



(12) [開かれた学校づくり] 学校便りなどによって、学校の情報は適切に伝えられている

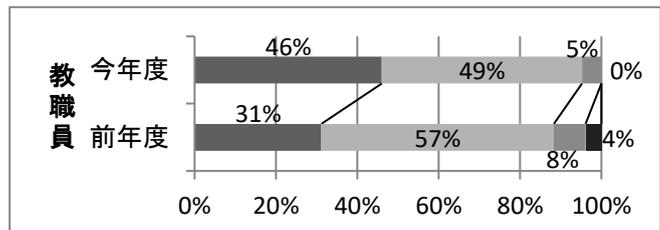
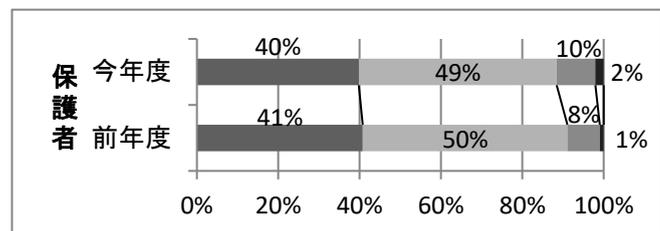
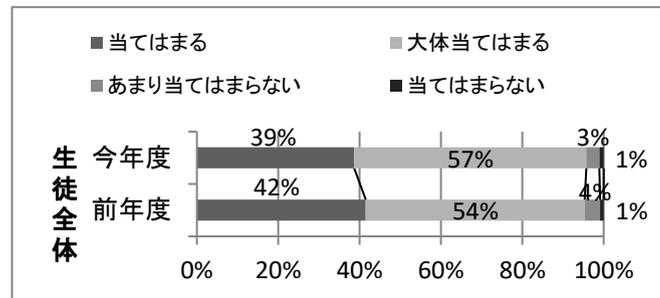
<分析>

- 生徒 95.3% → 95.7%
- 保護者 91.1% → 88.4%
- 教職員 88.3% → 95.2%

生徒や教職員の肯定的な意見は増加した一方で、保護者の肯定的な意見はやや減少している。図書館だよりや保健だより、緊急連絡などは一斉配信メールで送信しており、また、ホームページでは学校に関する詳細な情報を随時発信している。特にホームページのブログは昨年度以上に更新頻度を高めており、その結果、のアクセス数も増加している。また、新聞や自治体、団体などが発行している広報誌などで学校の取組を取り上げてもらっているが、保護者が効率的に情報を得られているとは言い難く、さらに、保護者や地域が求めている情報を十分にカバーしきれていない部分もあると考える。そこで、一方通行の情報提供にとどまらず、双方向のコミュニケーションが促進できるような方法を検討していきたい。

<改善に向けた取り組み>

教育活動や地域連携での具体的な成果を、データや写真を用いてホームページなどで分かりやすく伝える。また、保護者が知りたい情報や学校への要望を、PTA行事などの機会を利用して収集し、それを改善に反映させたり、授業参観を土曜日に行うなどして保護者が学校に来る頻度を多くしたりする手段を検討する。



(13) [施設整備] 校舎やグラウンドなどの施設や設備は整備されている

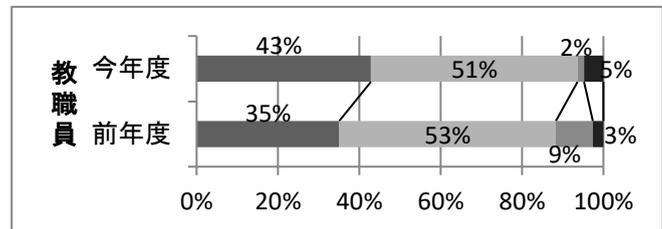
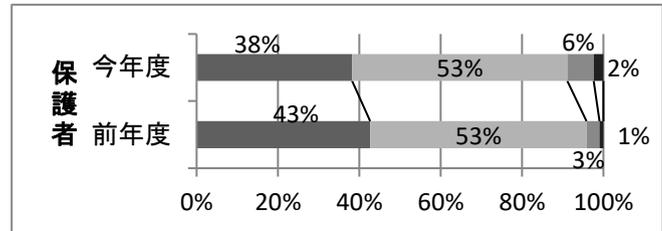
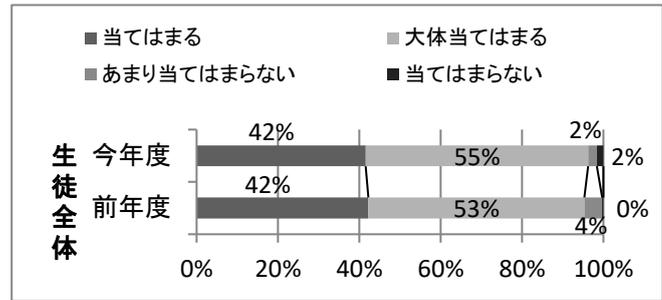
<分析>

全体的には90%以上の高い評価を維持している。開校10年目と施設設備が比較的新しいことが大きな要因であると思うが、本年度はグラウンド整備、体育館床塗装(令和7年2月予定)等教育環境の整備を着実に進めてきたことも評価につながっていると分析している。

しかし、若干であるが保護者のポイントが下がっており、要因は保護者から自由記述のあった送迎用駐車場の利便性等の一部不満によるものと思われる。

<改善に向けた取り組み>

- 施設の中長期的な維持管理のための設備改修及び授業で使用する特別教室へのエアコン設置を優先に年次計画により環境整備を進める。
- 保護者送迎用の駐車場は、限られた予算の範囲内で整地することを検討する。
- 改修や改善したい箇所(野球グラウンド、テニスコート、アーチェリー練習場等)や旧上沼高から使用している畜舎及び使用していない米谷工業実習棟解体と課題は山積みとなっているが、財政担当や主管課へのアプローチは、今後とも継続していく。



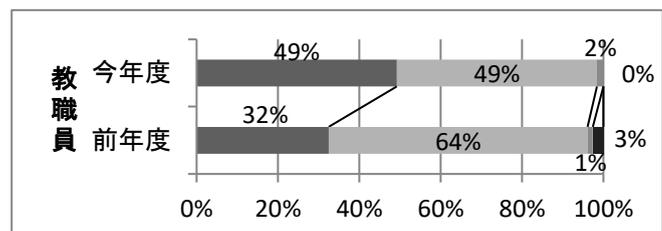
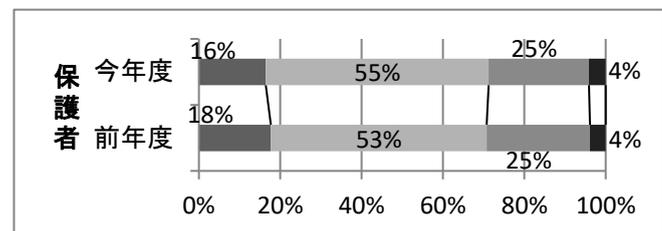
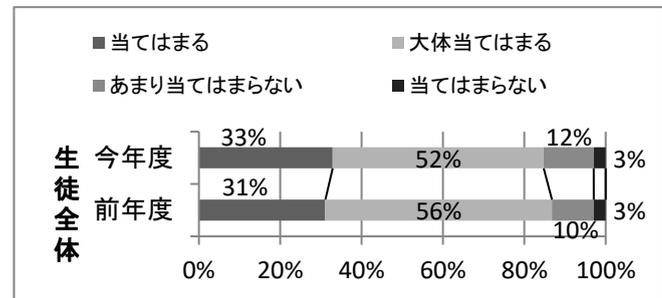
(14) [いじめ問題] 日頃から、いじめの実態把握や早期発見に取り組んでいる

<分析>

肯定的回答が生徒80%、教職員が90%を超えている結果となった。保護者の肯定的回答は昨年度より若干増加した。今年度も定期的に、いじめアンケート調査・生活アンケート調査を実施し早期に対応し解消してきた成果と考えられる。しかし、否定的回答の中にも潜在的な小さなトラブルが隠れていることも懸念される。

<改善に向けた取り組み>

いじめは早期発見・早期対応が基本である。潜在的ないじめに対して我々教職員が、生徒をよく観察しながら積極的に生徒指導していくことが重要である。生徒の抱える問題は多様化し、深刻化する傾向も見られる。今後も定期的に各調査を行いながら、生徒が相談しやすい環境づくりときめ細かな相談体制づくりなどを校内で考えていきたい。



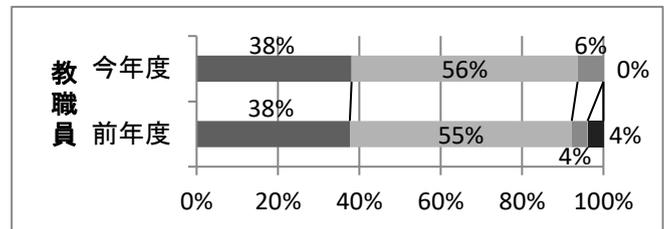
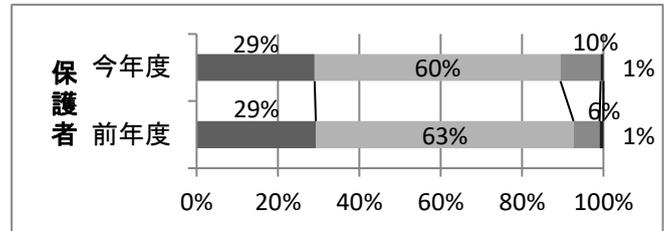
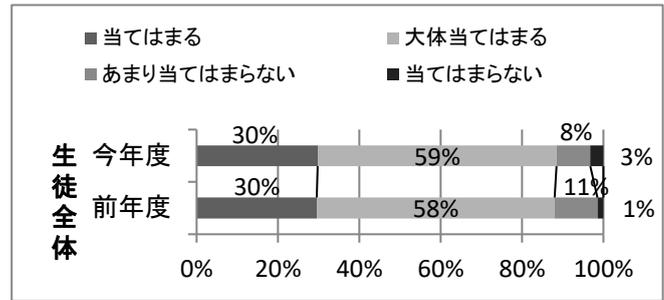
(15) [環境美化] 環境美化に取り組んでいる

<分析>

生徒・保護者・教職員とも90%近い肯定的な回答が確認できた。日々の清掃や消毒を実施している結果が校内の環境美化・衛生保持に貢献できたと思われる。
生徒たちも年間を通じて積極的に清掃活動に取り組んでいた。

<改善に向けた取り組み>

次年度も生徒・教職員の環境美化・衛生保持の意識を高め、学校全体が常に好環境が保たれるよう努めていきたい。



(16) [総合満足度] 学校生活は充実している

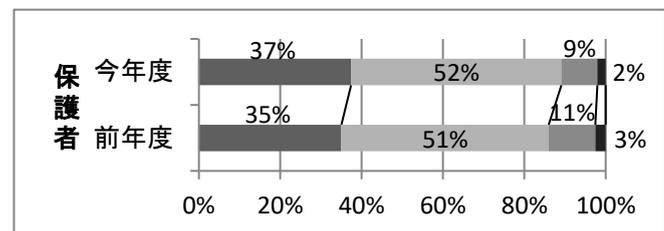
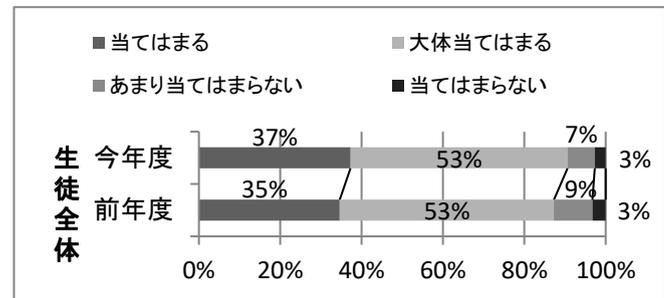
<分析>

生徒87.3% → 90.5%
保護者86.0% → 89.1%

生徒、保護者ともに肯定的な意見は昨年度よりも向上した。これは、生徒が校内外での交流を通じた学びや部活動などの課外活動、学校行事をとおして、自分の興味や才能を発揮し表現できる場が増えたことにより、学校生活全体がより充実したものになったためだと考えられる。また、ICTを活用して主体性や対話を重視した深い学びを展開したことが満足感の向上につながったと考えられる。

<改善に向けた取り組み>

生徒は、自分の興味や才能を発揮できる場が増えたことが肯定的な意見につながったことから、更なる活動機会の充実を図るため、校外学習の機会や地域との連携を強化し、専門的な分野に触れられる機会を検討するとともに、授業の中で生徒が個別最適化を図れるような個別指導やサポート体制を模索する。また、学校の取組や生徒の成果を積極的に発信するために、マスコミや自治体と連携を積極的に情報発信したり、ホームページなどを活用し保護者や地域社会へ情報を提供したりするように努める。



6 結果データ

<生徒>

学年	在籍数	回収数/率	適合度		項目1	項目2	項目3	項目4	項目5	項目6	項目7	項目8	項目9	項目10	項目11	項目12	項目13	項目14	項目15	項目16
			当てはまる	大体当てはまる	項目1	項目2	項目3	項目4	項目5	項目6	項目7	項目8	項目9	項目10	項目11	項目12	項目13	項目14	項目15	項目16
1 学年	164	128	当てはまる	46	38	53	56	53	67	52	51	53	69	63	56	57	53	46	54	
			大体当てはまる	79	83	60	68	70	50	67	68	65	56	58	67	66	57	69	64	
		78.0%	あまり当てはまらない	2	6	14	3	3	8	7	8	8	2	5	5	1	17	9	8	
			当てはまらない	1	1	1	1	2	3	2	1	1	0	1	0	2	1	1	1	

学年	在籍数	回収数/率	適合度		項目1	項目2	項目3	項目4	項目5	項目6	項目7	項目8	項目9	項目10	項目11	項目12	項目13	項目14	項目15	項目16
			当てはまる	大体当てはまる	項目1	項目2	項目3	項目4	項目5	項目6	項目7	項目8	項目9	項目10	項目11	項目12	項目13	項目14	項目15	項目16
2 学年	168	117	当てはまる	27	30	41	44	36	46	32	40	47	57	41	38	43	28	26	35	
			大体当てはまる	83	77	64	65	72	61	72	63	64	55	69	73	68	72	78	68	
		69.6%	あまり当てはまらない	5	9	10	7	8	8	10	10	5	2	6	3	3	12	10	7	
			当てはまらない	2	1	2	1	1	2	2	4	1	2	1	2	3	4	3	7	

学年	在籍数	回収数/率	適合度		項目1	項目2	項目3	項目4	項目5	項目6	項目7	項目8	項目9	項目10	項目11	項目12	項目13	項目14	項目15	項目16
			当てはまる	大体当てはまる	項目1	項目2	項目3	項目4	項目5	項目6	項目7	項目8	項目9	項目10	項目11	項目12	項目13	項目14	項目15	項目16
3 学年	168	131	当てはまる	39	39	47	65	45	52	35	47	55	57	51	51	55	42	39	50	
			大体当てはまる	78	76	72	61	73	71	71	75	73	69	76	74	70	65	72	67	
		78.0%	あまり当てはまらない	13	10	10	2	8	5	17	8	2	2	2	4	4	17	12	10	
			当てはまらない	1	6	2	2	5	3	8	1	1	1	1	2	1	6	8	2	

生徒計	在籍数	回収数/率	適合度		項目1	項目2	項目3	項目4	項目5	項目6	項目7	項目8	項目9	項目10	項目11	項目12	項目13	項目14	項目15	項目16
			当てはまる	大体当てはまる	項目1	項目2	項目3	項目4	項目5	項目6	項目7	項目8	項目9	項目10	項目11	項目12	項目13	項目14	項目15	項目16
500	500	376	当てはまる	112	107	141	165	134	165	119	138	155	183	155	145	155	123	111	139	
			大体当てはまる	240	236	196	194	215	182	210	206	202	180	203	214	204	194	219	199	
		75.2%	あまり当てはまらない	20	25	34	12	19	21	34	26	15	6	13	12	8	46	31	25	
			当てはまらない	4	8	5	4	8	8	12	6	3	3	3	4	6	11	12	10	

<保護者>

学年	在籍数	回収数/率	適合度		項目1	項目2	項目3	項目4	項目5	項目6	項目7	項目8	項目9	項目10	項目11	項目12	項目13	項目14	項目15	項目16
			当てはまる	大体当てはまる	項目1	項目2	項目3	項目4	項目5	項目6	項目7	項目8	項目9	項目10	項目11	項目12	項目13	項目14	項目15	項目16
1 学年	164	117	当てはまる	16	30	33	27	24	43	27	41	46	58	27	51	45	20	33	44	
			大体当てはまる	57	70	68	76	76	66	76	66	59	55	72	54	61	65	73	65	
		71.3%	あまり当てはまらない	6	15	14	13	15	6	13	9	11	3	15	9	7	28	9	7	
			当てはまらない	0	2	2	1	2	1	1	1	1	1	3	3	4	4	2	1	

学年	在籍数	回収数/率	適合度		項目1	項目2	項目3	項目4	項目5	項目6	項目7	項目8	項目9	項目10	項目11	項目12	項目13	項目14	項目15	項目16
			当てはまる	大体当てはまる	項目1	項目2	項目3	項目4	項目5	項目6	項目7	項目8	項目9	項目10	項目11	項目12	項目13	項目14	項目15	項目16
2 学年	168	107	当てはまる	17	17	30	19	22	38	28	31	46	45	24	37	46	19	34	34	
			大体当てはまる	64	67	56	67	61	47	65	61	49	55	64	53	53	50	55	56	
		63.7%	あまり当てはまらない	8	22	20	18	20	21	14	13	11	7	18	14	6	30	17	14	
			当てはまらない	4	0	1	3	4	1	0	2	1	0	1	3	2	7	0	3	

学年	在籍数	回収数/率	適合度		項目1	項目2	項目3	項目4	項目5	項目6	項目7	項目8	項目9	項目10	項目11	項目12	項目13	項目14	項目15	項目16
			当てはまる	大体当てはまる	項目1	項目2	項目3	項目4	項目5	項目6	項目7	項目8	項目9	項目10	項目11	項目12	項目13	項目14	項目15	項目16
3 学年	168	70	当てはまる	15	17	13	30	15	16	15	25	22	28	17	29	21	9	18	32	
			大体当てはまる	55	43	49	31	45	47	51	39	45	39	43	36	41	45	49	31	
		41.7%	あまり当てはまらない	7	9	7	7	8	5	4	6	3	2	9	5	6	14	3	5	
			当てはまらない	1	1	1	2	2	2	0	0	0	0	0	0	1	1	0	2	

保護者計	在籍数	回収数/率	適合度		項目1	項目2	項目3	項目4	項目5	項目6	項目7	項目8	項目9	項目10	項目11	項目12	項目13	項目14	項目15	項目16
			当てはまる	大体当てはまる	項目1	項目2	項目3	項目4	項目5	項目6	項目7	項目8	項目9	項目10	項目11	項目12	項目13	項目14	項目15	項目16
500	500	294	当てはまる	48	64	76	76	61	97	70	97	114	131	68	117	112	48	85	110	
			大体当てはまる	176	180	173	174	182	160	192	166	153	149	179	143	155	160	177	152	
		58.8%	あまり当てはまらない	21	46	41	38	43	32	31	28	25	12	42	28	19	72	29	26	
			当てはまらない	5	3	4	6	8	4	1	3	2	1	4	6	7	12	2	6	

<職員>

職員計	配布数	回収数/率	適合度		項目1	項目2	項目3	項目4	項目5	項目6	項目7	項目8	項目9	項目10	項目11	項目12	項目13	項目14	項目15
			当てはまる	大体当てはまる	項目1	項目2	項目3	項目4	項目5	項目6	項目7	項目8	項目9	項目10	項目11	項目12	項目13	項目14	項目15
81	81	64	当てはまる	16	26	21	37	20	27	24	24	35	27	29	27	31	24	15	
			大体当てはまる	40	32	38	26	35	32	36	35	27	35	31	32	31	35	40	
		79.0%	あまり当てはまらない	6	4	4	0	7	4	2	3	1	1	3	1	1	4	6	
			当てはまらない	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	3	0	0	1

適合度		項目16	項目17	項目18	項目19	項目20	項目21	項目22	項目23	項目24	項目25	項目26
当てはまる		10	27	18	28	25	18	18	23	19	16	16
大体当てはまる		36	36	42	35	33	43	40	35	43	46	46
あまり当てはまらない		15	0	2	0	5	1	5	3	1	1	1
当てはまらない		2	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0

※ 学校長, 教頭, 非常勤講師, SSW, SC, パート, ALT, 育休・病休職員を除く